

令和4年度 夏期インターンシップ（長期）受入れ予定一覧表

番号	グループ名	実習内容	受入可能期間	受入れ人数	備 考	留学生	大学 (大学院を含む)	大学 及び 高専
1	技術推進本部 先端技術チーム	<ul style="list-style-type: none"> 実験計画・準備の補助 実験中の計測補助、実験後のデータ整理・解析、結果の検討 技術相談等への同席、資料作成補助 <p>なお、以下に関連する実験等を予定している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 建設機械の自動運転にむけたシステム開発と動作実験 インフラ管理施設(水門、ポンプ等)の状態把握手法の改善 	自 令和4年7月4日頃 至 令和4年9月30日頃 (最低1週間から受入が可能である。)	2		不可		2
2	地質・地盤研究グループ 施工技術チーム	道路土工の排水施設の設計に用いる確率降雨強度の試算及び作図補助	自 令和4年7月19日頃 至 令和4年9月30日頃 (最低1週間から受入が可能である。)	1	GISソフトウェアに習熟していることが望ましい。	不可	1	
3	流域水環境研究グループ 流域生態チーム	現地調査(小貝川・鬼怒川等を予定)、植物の採集、同定、物理環境(流速・水深等)の調査を行う。その後、研究室においてGISソフト等を用いて、過去の植生データとの比較や、植物種ごとの物理環境の比較を行う。	自 令和4年7月1日頃 至 令和4年7月30日頃 (最低1週間から受入が可能である。)	2		可		2
4	流域水環境研究グループ 水質チーム	以下のいずれかに関連した内容を実施する。 <ol style="list-style-type: none"> ダム貯水池・湖沼の水質モニタリング技術の検討 センサーやマルチスペクトルカメラ等の技術によるダム貯水池・湖沼の水質モニタリング手法に関する検討を実施する。 気候変動下におけるダム貯水池・湖沼の水質影響の検討 将来の気候変動下におけるダム貯水池・湖沼等の水質変化を予測・評価する手法等に関して検討を行う。 ダム貯水池のアオコ発生予測手法に関する検討 主に機械学習手法を用いたアオコ発生の予測モデルについて技術的な検討を実施する。 	自 令和4年8月8日頃 至 令和4年9月16日頃 (最低2週間から受入が可能である。)	1	高度な内容であり、一定程度の研究経験を要するため、大学院生以上に限定。	不可	1	
5	流域水環境研究グループ 自然共生研究センター	魚類、水生昆虫、付着藻類などの河川生物に関する定期調査、実験河川を用いた大規模操作実験、実験室での基本的な生物のソーティングやPCRなどの分子生物学実験、仮想空間構築の基本的な作業、3次元レーザーなどを用いた測量、取得データの打ち込み・整理	自 令和4年7月1日頃 至 令和4年9月30日頃 (最低2週間から受入が可能である。)	2		不可		2
6	河道保全研究グループ 水工チーム	○ ダム貯水池や河道の土砂動態に関するデータ解析・分析 <ul style="list-style-type: none"> グリーンレーザー等で3次元測量結果の解析(河床、橋脚洗堀、堰等) 土砂動態に関する文献調査、河床変動計算等 	自 令和4年7月1日頃 至 令和4年9月30日頃 (最低1週間から受入が可能である。)	1		不可	1	
7	河道保全研究グループ 水工チーム	ダム洪水吐き水理模型実験及びデータ分析等	自 令和4年7月1日頃 至 令和4年9月30日頃 (1～2週間の受入が可能である。)	1		不可	1	
8	河道保全研究グループ 河道監視・水文チーム	土砂観測に関する実習及びデータ分析等	自 令和4年8月22日頃 至 令和4年8月26日頃 (最低1週間から受入が可能である。)	1	以下に該当する学生が望ましい。 <ul style="list-style-type: none"> 河川水又はダム湖等の内水面における濁度計測やデータ分析に興味があるもの。 プログラミングに関する知識があるもの。(実習でpython, JAVA等を使用予定) 	不可		1
9	道路技術研究グループ トンネルチーム	<ol style="list-style-type: none"> 山岳トンネルの形状に関する検討 基本的な数値解析を実施し、山岳トンネルの形状に関する検討を行う。 補助工法の効果に関する掘削実験 補助工法を施工した際の効果について、1/30スケールの掘削実験を行い、その結果の整理および分析を行う。 	自 令和4年8月1日頃 至 令和4年9月30日頃 (最低2週間から受入が可能である。)	2	現場見学等を検討中	不可	2	

令和4年度 夏期インターンシップ（長期）受入れ予定一覧表

番号	グループ名	実習内容	受入可能期間	受入れ人数	備 考	留学生	大学 (大学院 を含む)	大学 及び 高専
10	水災害・リスクマネジメント国際センター (ICHARM)	水災害リスク評価に関する研究の紹介 潜在的ハザード地区の先進的な氾濫域算出法もしくは画像解析の紹介 (衛星やドローンからの画像データの扱いも希望があれば応じる) つくば市近郊でのドローンによる植生調査への同行	自 令和4年8月16日頃 至 令和4年8月26日頃 (最低1週間から受入が可能である。)	2		可	2	
11	構造物メンテナンス研究センター(CAESAR) 橋梁構造研究グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 試験橋梁を用いた荷重車載荷試験の見学 (受け入れの期間によっては、必ずしも見学できるとは限りません。) ・ 撤去床版を用いた電磁波レーダ探査の実験補助、実験データ整理補助 ・ 荷重車載荷試験に関する補助、試験データの整理補助 ・ 支承の試験に関するデータ整理補助、点検業務補助 	自 令和4年8月1日頃 至 令和4年9月30日頃 (最低1週間から受入が可能である。)	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 具体的な実習内容や実習計画については、実習生の希望、学習状況、業務の進捗状況等を踏まえたうえで決定。 ・ 受け入れ時期、期間の詳細はご相談下さい。 	不可		3

※研究企画課夏期実習生担当 (TEL : 029-879-6751、mail : saiyou-kikaku@pwri.go.jp)